



ぐんま東毛労基通信

	TEL	FAX	QR
太田労働基準監督署	0276-45-9920	45-5573	 太田協会
労働基準協会 太田労働基準協会	0276-46-5774	46-1544	
館林労働基準協会	0276-72-8890	70-7622	 館林協会
大泉労働基準協会	0276-20-1112	20-1113	

目次

太田監督署管内の労働災害発生状況	2
群馬労働局より 時間外労働の上限規制が建設業や自動車運転業務などで適用になります	3
PR動画シリーズ「はたらきかたススメ」の周知について	3
定期健康診断有所見率の状況	4
会員訪問 富士部品工業株式会社	5
協会だより 各地区の産業安全衛生大会のお知らせ	6
新たに「化学物質管理者養成講習」を来年3月に開講します	6
10月の講習・教育のご案内	6

令和5年度 全国労働衛生週間スローガン

目指そうよ二刀流
こころとからだの健康職場

「顧客優先・誠実・革新」を社是とし、工業用締結部品をメーカーに販売、樹脂部品の開発・製造も手掛ける成長企業。

富士部品工業株式会社(以下「富士部品工業」と記します。)は、太田地区において、工業用締結部品(ボルト、ナット、樹脂など)の販売及び製造を行っています。



〈色々な工法で作られた部品群の一例〉

スタートは卸売業で

昭和57年4月、富士部品工業は自動車メーカーなどに締結部品を納める卸売業者としてスタートしました。社名の「富士」には日本一の会社、「工業」にはいつの日か「ものづくり」を行うという、創業者4人の願いが込められています。

「顧客優先」がもたらしたものの創業者の一人である渡邊浩さんは社是の第一として、「顧客優先」を示されました。「顧客優先」とは部品の調達、在庫管理、営業サポートなどを通し、顧客であるメーカーを支えることを最優先に企業活動を展開することです。

長年にわたる努力により、メーカーとの信頼関係が築かれると、「こんな部品が欲しい。」という相談を受けることが多くなりました。その中には外部からの調達が非常に困難な部品もありました。そこで、平成13年に工場を立上げ、メーカーが必要とする樹脂部品の開発、製造に踏み出しました。

また、大地震などの不測事態に備

え、1万点以上に及ぶ取扱部品について、1か月分の在庫を確保し、メーカーの安定生産を担保しています。

「顧客優先」の経営哲学が、富士部品工業の発展と成長を呼び込むとともに、創業者の願いである「ものづくり」をも実現させていると言えるでしょう。

群馬労働局長表彰

本年7月、富士部品工業は群馬労働局長から労働安全衛生優良事業場と認められ、奨励賞を受賞されました。経営陣が率先して安全衛生活動に積極的に取り組んでいること、施設整備の改善や工夫、労働災害を発生させていないことなどが高く評価されました。



〈安全スペースと品質を考慮した倉庫〉

具体的には、毎週木曜日に会長と社長が職場巡視を行い、現場をチェックしています。改善するところを指摘するだけでなく、改善したところを褒めることで、従業員のモチベーションを高めています。倉庫と工場のスペースを十分に確保した上で5Sを徹底し、労働災害のリスクを低減しています。従業員の体への負担を軽減するため、「マッスルスーツ」や「らくらくハンド」を導入し、腰痛や上肢の怪我などの防止に努めています。



〈事業所全景〉

上から樹脂成形組立センター・
本社・物流センター

また、フォークリフトのヒヤリハットの防止や作業分析による効率改善を目的に、倉庫と工場に130台のカメラを設置しています。これらの地道な努力が創業以来40年以上にわたり、休業4日以上労働災害ゼロという素晴らしい結果を生んでいます。

変革にチャレンジ

時代が大きく変化する中で、富士部品工業は様々な変革にチャレンジしています。

情報インフラを再構築し、業務環境のデジタル化を進展させています。時間外労働を原則として1か月30時間以内に抑えるとともに、産休や育児休業に伴って発生する同僚などの業務負担増を緩和するため、創業以来初めて派遣労働者を受け入れました。高齢者雇用にも積極的に取り組み、嘱託社員には、70代や80代の方もいらっしゃいます。今後も「顧客優先」を旨とし、卸売と製造の二刀流でメーカーをしっかり支え、地域社会の発展に貢献されていくことでしょう。

取材対応

代表取締役会長 金井 伸司 様
代表取締役社長 松崎 友康 様
執行役員 総務部長 大島 充也 様